

中山道再発見、紹介事業

取り組みに至る背景・事業の目的

全国的に健康志向が高まる中で、中山道を歩く観光客が徐々に増えている。しかし、中山道は時代とともに変化し、かつ、車道以外の場所を通っていることがあるため、その全線を把握することが困難で、歩くことを目的に作成されたマップ類はなかった。

これまでは、木曾町の愛好者による手づくりマップが配布されていたが、ページ数が多く、色を塗ったりする手間もかかるため、実際に歩くことを目的に案内所へ来た観光客にのみ配布されてきた。

しかし、最近では中山道を歩きたいと希望する観光客からのマップの送付希望が増加し、今後も需要の増加が予想されるため、できるだけ多くの観光客へ配布できるようマップの作成を行う。

事業内容

- 1 ウォーキングボランティアによる現地検証
中山道木曾路(約8.2km)を5回に分けて実際に歩き、標識や目印等中山道の状況を検証した。
- 2 1の現地検証の結果を踏まえ、中山道木曾路ウォーキングマップの企画・作成を行った。
(B6判、48ページ、両面2色、間伐紙
20,000部印刷



事業効果

- 1 ウォーキングボランティアによる現地検証
曲り角等の分かりにくい箇所の目印や、中山道の南北どちらから歩いてみても分かるような目印の拾い出しができ、より正確なマップの基礎づくりができた。
また、ボランティア17名は、5日間の歩く作業、編集作業等により、参加者同士のつながりが深まった。
- 2 中山道木曾路ウォーキングマップの企画、作成
江戸時代後期の中山道を忠実にたどるマップが完成したことにより、今後より多くの観光客に木曾路の良さを理解してもらうことができる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

従前のマップは手作りならではの暖かみのあるものだっただけに、手作り感を残しながら暖かみのあるマップにするために、紙質や活字等に苦心した。また、実地調査では、雨天の中で確認作業に苦労し、マップの校正の段階では不確実な点が散見され、その確認作業にも苦労した。

私道を多く通過する中山道は、標識等の目印の変化が激しいため、毎年現地を検証する中で、マップの中で案内している目印等を確認し、マップを更新していく必要があるが、費用を補助金にばかり頼るわけにもいかないため、作業チームのあり方や財源の確保が課題である。

【選定のポイント】

沿道住民ボランティアらによる実地の踏査で、より訴求力のあるマップとして完成している。住民自らの手で地域の魅力を再発見し、観光資源に育てていく取組は、他への範として評価できる。

団体名	木曾観光連盟 (木曾町)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 田沢文章 電話 0264-23-1122	事業費	1,585,500円
ホームページ	http://www.kisoji.com/	支援金額	1,585,500円
メールアドレス	kanren@kisoji.com		